

配電線故障区間表示器検査成績書

納入先

検査期日 年 月 日

工事番号

形 式	ESS-SB6	定格電圧	AC 110/220V	制御電圧	DC110V
動作原理	静止形	定格周波数	60Hz	表示区間	最大12区間
数 量	台	動作時間	各区間 10秒		
		製造番号			

試験項目・試験内容

試験項目	試験内容		試験結果										
構造検査	外観・構造・表示事項及び塗装												
絶縁抵抗試験	回路一括・外箱間：10MΩ以上（規格値）												
耐電圧試験	回路一括・外箱間：2.0kV 60Hz 1分間												
特性試験	（注） 下記項目の試験を実施する。												
総合動作試験	下記項目の動作を点検する。												
	(1) 再閉路成功動作のとき	配電線全区間に故障がない場合を模擬して、故障区間表示器を起動させた時、第1区間より順次表示を行い、第12区間を終了し自動復帰する事を確認する。											
	(2) 再閉路失敗動作のとき	配電線の途中で継続故障がある場合を模擬して、故障区間表示器を起動させた時、該当の故障区間に停止表示するとともに、警報接点が閉路する事を確認する。											
	(3) 復帰操作	(2)項の試験に引き続いて、復帰操作をした時、警報接点が閉路するとともに、表示が復帰する事を確認する。											
動作時間	下記公称値に対して許容差（±0.5秒）以内であることを確認する。												
	区 間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
公称値（秒）	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	
遠方表示出力電圧	下記公称値に対して許容差（±0.2V）以内であることを確認する。												
	区 間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
公称値（V）	0.6	1.4	2.2	2.9	3.7	4.5	5.2	6.0	6.7	7.5	8.3	9.1	

備 考

--

承認	作成